

公設公営を堅持するのであれば、通園施設の1割負担を導入せず、これまでどおり無料とするべき。

議案第103号

反対

【日本共産党】

国保は高齢者が多く医療費が高い一方、所得が低く滞納世帯が増えている。保険料が高すぎるため全国の自治体も「これ以上負担を求めるのは限界」としている。増税は国が赤字解消を住民負担に求め、応益負担である均等割引き上げに誘導するもの。均等割は低所得者ほど負担が重く所得再分配に逆行する。所得200万円4人世帯の保険料は所得の15%に上り、生活を圧迫する。国が1兆円を投入すれば均等割をなくし協会けんぽ並みに保険料を下げられる。

議案第122号

反対

【日本共産党】

市議会議員の期末手当

を12月から2万8800円引き上げる内容が含まれる。市長や議員などの特別職の報酬引き上げは、その時の政治判断や市民の理解の下で行われるべきである。

セクハラ・パワハラの問題では、第三者委員会の調査結果を受け、ハラスメント防止や議員の政治倫理条例策定の議論が始まったばかりで、相談窓口や職場環境の健全性の確保も道半ばである。

よって、議員の期末手当引き上げには反対である。

決議第5号

反対

【政晴会】

第三者委員会では、一連のハラスメントの要因について、議員と職員間、または議員間の当選回数による上下関係、議員の地位が高く職員が意見を述べられない現状があると指摘している。この問題の本質はこれらの改善であり、本件は議会全体

で受け止め、全体で謝罪すべきものである。本決議は、既に謝罪済みの同議員個人にのみ責任を問うものであり、同意することはできない。

決議第6号

反対

【やまびき会】

これまで申し入れ者に対し、隠し録音をされるようなことをした覚えもない中で、第三者委員会は、5時間近く飲酒をしている上での発言であると認めながらも、本人が記憶にないと主張する隠し録音の音声の数語の発言をもつて、ハラスメントに該当すると指摘したことは、大変残念に感じている。



当然、本人もハラスメントは根絶されるべきであり、皆が信頼できる職場環境を構築すべきと考えている。

市政報告

今定例会では、議案以外に市政の重要事項として、2件の報告がありました。

市政報告の内容および市政報告に対する質疑については、インターネット録画放送（川越市議会ホームページから）または今定例会の会議録（2月下旬頃から、川越市議会ホームページまたは図書館等で）よりご覧いただけます。

川越市役所本庁舎における制振用ダンパーの検査データ書き換えの経緯と今後の対応について

1 主な経緯

平成30年10月23日、国土交通省の「免震・制振用ダンパーの試験値書換えについて」の報道発表を受け、県から、市役所本庁舎に設置された制振用ダンパーが該当する旨の連絡があった。翌24日、制振用ダンパーの設計・技術支援を行った株式会社川金テクノソリューションから、市へ納入した116本のうち56本が設計範囲外であったと情報提供があった。

11月1日、同社から現状の説明、7日には、株式会社川金コアテックから謝罪、現況と今後の対応についての説明と不適合製品の型式および製造番号の報告を受けた。その後、26日に同社から、書き換え前後の検査データと不適合製品の配置図の提出があった。

2 現在の状況

株式会社川金コアテックからの書き換え前後の検査データと不適合製品の配置図の提出を受け、資料を精査、さらに、市が独自に実施した検査資料等に基づく確認作業の結果との突き合わせを行い、不適合製品

56本の設置場所を確認。また、不適合製品以外の制振用ダンパーも、検査データの書き換えが行われた製品が58本判明し、設置場所を確認した。

3 今後の対応

- 株式会社川金コアテックから、次の説明があった。
- (1)書き換え前のデータを基に、設計業者にて建築物の構造解析を行い制振性能への影響を検証する。
- (2)構造解析の結果について、第三者機関にて耐震性能を確認する。
- (3)同社から市および施工業者へ、構造解析の結果を報告する。
- (4)検査データの書き換えが行われた製品への対応については、不適合製品への対応を優先して進める。

市としては、株式会社川金コアテックに対し、本件に関する迅速な報告と不適合製品の交換等を含めた適切な対応を求めていく。